

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AF255／生活科教育論 (Education of Life Studies)		
担当者名 (Instructor)	伊藤 実歩子(ITO MIHOKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EDU2700	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

生活科の成立史、またその理念や原理について理解するとともに、それらを踏まえた生活科の特質や低学年児童の発達に応じた子ども理解を深め、生活科の教科内容を理解することができるようにする。

Students can understand the history of the establishment of life sciences and their principles. They can deepen the understanding of children according to the characteristics of life sciences and the development of lower grade children.

授業の内容 (Course Contents)

生活科の教育理念や原理について学習したうえで、学習指導要領の目標・内容・方法等の構成について学ぶ。そして、生活科の教科内容について、児童理解の方法及び学習の構想や授業の進め方等を考える。

Students learn about the educational philosophy and principles of life studies. And then they learn about the composition of goals, contents, methods, etc. of the course of study. Then, regarding the subject content of the life studies, consider the method of understanding children, the concept of learning, and the method of proceeding with classes.

授業計画 (Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 生活科の誕生——学習指導要領の変遷とともに——
3. 生活科の目標と内容構成 ——スタートアップカリキュラムとしての生活科——
4. 生活科の内容の検討2——①「学校と生活」②「家庭と生活」③「地域と生活」④「公共物や公共施設の利用」⑤「季節の変化と生活」 ——
5. 生活科の内容の検討3——⑥「自然やものを使った遊び」⑦「動植物の飼育・栽培」⑧「生活や出来事の交流」⑨「自分の成長」 ——
6. 生活科の源流を探る——ドイツ語圏の Sachunterricht ——
7. 生活科の源流を探る——ドイツ語圏の Sachunterricht の教科書の検討 ——
8. 生活科の単元構想とその検討1
9. 生活科の単元構想とその検討2
10. 生活科の単元構想とその検討3
11. 生活科の単元構想とその検討4
12. 生活科の単元構想とその検討5
13. 生活科の実践と評価
14. まとめ——これからの生活科——

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

自分で授業構想を練るだけでなく、その一部または全部を実践してみる工程を含んでいるため、授業時間外の作業は非常に多くなることに留意してほしい。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

授業内レポート(30%) / 授業内レポート(30%) / 授業内レポート(40%)

テキスト (Textbooks)

適宜、配布あるいは指示する

参考文献 (Readings)

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

